

全科実例による社会保険 歯科診療

2015

平成

27

年

4

月版

歯科保険研究会 編

購入者限定! 2大^{無料}特典付き



①「歯科診療 2015 電子版」

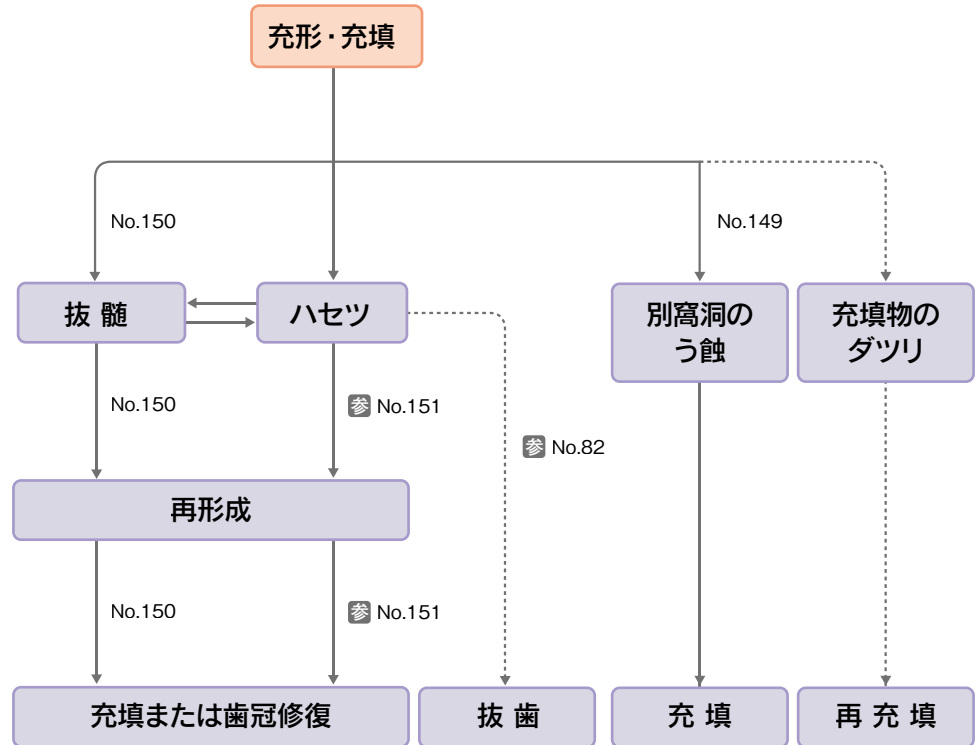
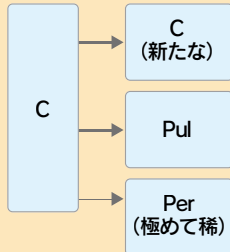
②「歯科診療かな漢字変換辞書 2015」

医歯薬出版株式会社

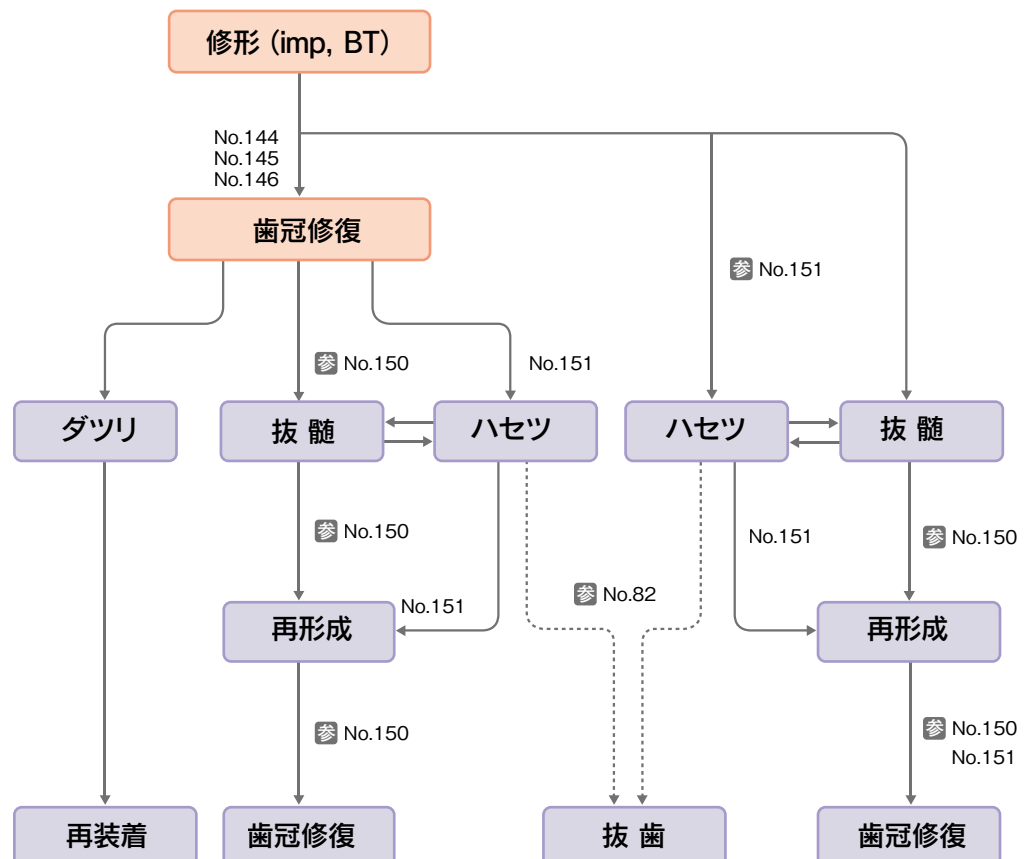
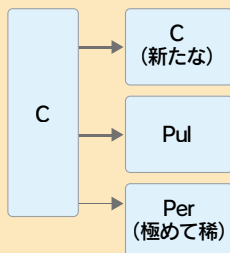
治療の流れで 症例検索 チャート

参：参考症例

C₂
生活歯



C₂
生活歯



社会保障制度改革の動きとこれからの 歯科保健医療サービスの展開

都道府県に設置された新しい基金と在宅歯科医療を中心に

1 はじめに

最近、社会保障制度に関する新聞記事やニュースも増えてきている。2015 年は、4 月に介護報酬改定が 3 年ぶりに予定されており、歯科診療の側面でも在宅の歯科医療サービスについて、一部の歯科医療機関には少し影響がある。

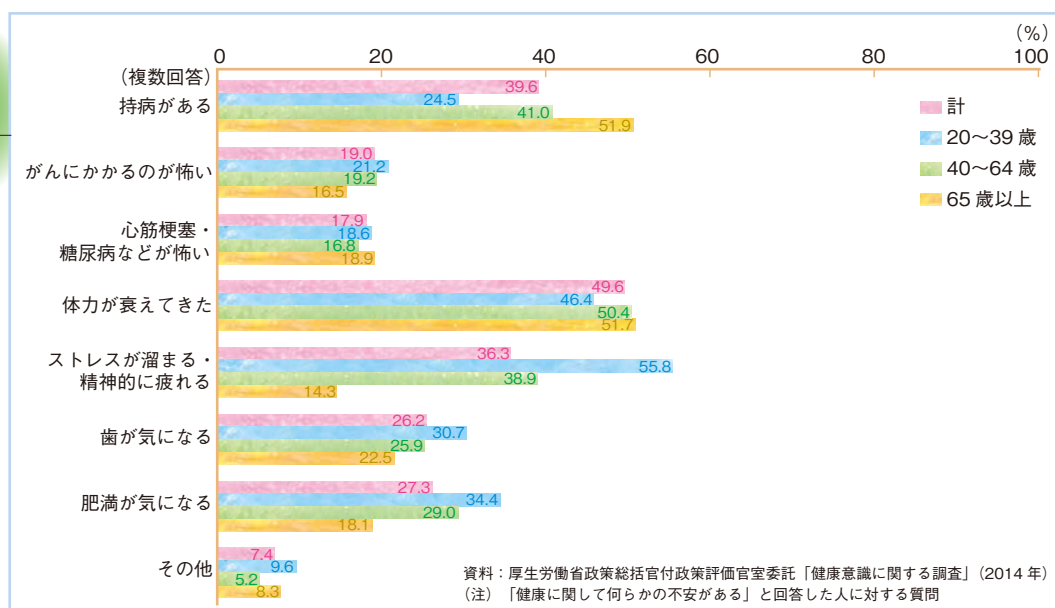
歯科医師は、日ごろの歯科診療においてわが国の社会保障を担っており、社会保障制度のなかで、生活をしている職種であるともいえる。

2014 年度の厚生労働白書¹⁾では、健康に関して不安を抱えている約 6 割の者のうち、「歯が気になる」との回答が約 4 分の 1 ある。8020 運動の成果で、高齢者の歯が残っていることも影響し、65 歳以上でもそれほど低い回答率を示していない。歯科医療関係者の役割が、非常に評価されているともいえる（図 1）。

わが国では、急速に少子高齢化が進んでおり、2025 年には、75 歳以上のいわゆる後期高齢者が約 2,200 万に急増し、人口に占める後期高齢者の割合も 18%を超える²⁾（図 2）。

図 1

健康に関して抱えている不安



7/16		病再診 再外来環	72+4
		手術後 1 週間目。術後経過良好	
		周術期口腔機能管理料（Ⅱ）（術後 2 回目）（患者へ文書提供）	300
		周術期専門的口腔衛生処置（術後）（DH ●●）（指示内容略）	80
	7+7 7+7	P 基処（JG）	—
7/23		病再診 再外来環	72+4
		翌日に退院予定	
	7+7 7+7	歯周基本検査（検査内容略。スケーリング後の再評価で BOP 減少）	200
		P 基処（JG）	—
		実地指 1（指示内容略）	80
		情 I	250
		連携する歯科医療機関へ紹介し、退院後の周術期口腔機能管理を依頼（文書＋パノラマ X 線をプリントアウトして添付）	
7 月分 実日数 4 日			計 2,104 点

7 月 24 日 退院（退院後の管理は連携歯科診療所に紹介）

【退院後に連携歯科診療所を受診】

8/4		初 診	234
	7+7 7+7	X 線（オルソパントモ）診断	125
		周術期口腔機能管理料（Ⅰ）（術後）（文書提供）	190
		歯清（DH ●●）	—
		実地指 1（患者へワーファリン内服中のブラッシング方法について指示。文書提供）	80
		（以下、省略）	

（明細書略）

症 例 解 説

⚙️ 周術期口腔機能管理計画策定料《周計》（300 点、1 回限り）

- ①全身麻酔下で実施される、頭頸部領域、呼吸器領域、消化器領域等の悪性腫瘍の手術、臓器移植術または心臓血管外科等の手術または放射線治療や化学療法を行う患者が対象（骨髄移植患者も対象。対象病名に要注意）。
- ②手術等を実施する保険医療機関から文書による依頼（同一院内で手術をする場合は除く）が必要。
- ③患者同意のうえで周術期の口腔機能評価と一連の口腔機能管理計画を策定した場合に算定する。
- ④管理内容を患者に説明し文書を提供する。
 - （1）管理計画書の記載内容（77 頁参照）
 - ①基礎疾患の状態・生活習慣
 - ②主病の手術等の予定（または実績）
 - ③口腔内の状態等〔現症および手術等によって予測される（または生じた）変化等〕
 - ④周術期の口腔機能の管理で実施する内容
 - ⑤主病の手術等に係る患者の日常的なセルフケアに関する指導方針

⑥その他必要な内容

- ⑦保険医療機関名と当該管理を行う歯科医師の氏名

⚙️ 周術期口腔機能管理料

①周術期口腔機能管理料（Ⅰ）《周Ⅰ》

1. 手術前 280 点（1 回）
2. 手術後 190 点（3 月以内に計 3 回まで）

②周術期口腔機能管理料（Ⅱ）《周Ⅱ》

1. 手術前 500 点（1 回）
2. 手術後 300 点（手術実施日より 3 月以内に月 2 回まで）

がん等の治療を外来または在宅で行っている患者《周Ⅰ》、がん等の手術を実施する病院に入院中の患者《周Ⅱ》に口腔機能管理計画に基づき口腔機能管理を行い、管理内容を文書〔「管理報告書」〕で提供した場合に算定する。

③管理報告書の記載内容（78 頁参照）

①口腔内の状態の評価、②具体的な実施内容や指導内容、③その他必要な内容。

④管理報告書の患者への提供

- ①《周Ⅰ～Ⅲ》算定時に報告書を提出する。
- ②それぞれの管理内容をまとめて記載した管理報告

診療報酬明細書

(齒科)

平成 27 年 5 月分

都道府県 医療機関コード

3	1 社・国	3 後期	1 単独	2 本外	8 高外
歯 科			2 2併	4 六外	
	2 公費	4 退職	3 3併	6 家外	0 高外

_____					_____				
公費負担者番号					公費負担者受号				

保險者 番 号						給付割合	1098 7 ()
------------	--	--	--	--	--	------	---------------

被保険者証・被保険者
手帳等の記号・番号

氏名											特記事項	届出	保険医療機関の所在地及び名称
	1男 2女 1明 2大 3昭 4平 . . 生												
職務上の事由	1職務上 2下船後3月以内 3通勤災害												

傷 病 名 部 位	7 6 5 6 7 PD ハセツ	診 療 開 始 日	27 年	5 月	7 日	
		診 療 実 日 数	3 日 (日)			
		転 帰	治 め	死 亡	中 止	

初診	時間外() 休日() 深夜() 乳() 乳・時間外() 乳・休日() 乳・深夜() 特() 特導() 特連() 特地() 外来環()	点
----	--	---

再診	×	時間外	×	休日	×	深夜	×	乳	×	乳・時間外	×	乳・休日	×	乳・深夜	×	特	×	再外来環	×
----	---	-----	---	----	---	----	---	---	---	-------	---	------	---	------	---	---	---	------	---

管理・リハ	歯管	+	義管	・	実地指	・	周Ⅰ (前)	周Ⅰ (後)	×	周Ⅱ (前)	周Ⅱ (後)	×	周Ⅲ	歯リハ1	100・	歯リハ2	その他		100
-------	----	---	----	---	-----	---	-----------	-----------	---	-----------	-----------	---	----	------	------	------	-----	--	-----

投藥・注射	内 屯 外 注	調	×	×	処方	×	情	×	+	×	処	×	+	×	注	×	×
-------	---------	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

X線 検査	全額	枚	写	×	P混検	×	P部検	×	基本 検査	×	精密 検査	×	その他		
	標	×	×	S培	×	顎運動	×	平測		×		×			×
	パ	×	×	EMR	×	×	×	×		×		×			

処置	う触	×	保護処置	×	×	×	×	填塞	×	×	×	知覚過敏	×	×	×	咬調	×	×
	抜	×	感	×	根	×	根	×	加圧根充	×	×	生切	×	除	×	F局	×	
		×	根	×		×		×		×	×		×		×	T.cond	×	
	髓	×	処	×	貼	×	充	×		×	×	菌清		去	×			

·	S C	×	+	×	×	+	×	SRP前	×	小	×	大	×	前	×	小	×	大	×
---	-----	---	---	---	---	---	---	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

手	PCur	前	×	小	×	大	×	前	×	小	×	大	×	SPT	.	.	P 処	×	P 基 処
---	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	-----	---	-------

術	拔	齒	乳	×	前	×	白	×	難	×	埋	×	+	×	切開	×	×	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	--

その他	特定薬剤
-----	------

麻酔	伝麻	×	浸麻	×	その他	
----	----	---	----	---	-----	--

補診		維持管理	×	×	×	印象	×	×	60×1	×	×	×	×	×	×	×	×
----	--	------	---	---	---	----	---	---	------	---	---	---	---	---	---	---	---

歯 冠 形 成	前接C (生)	×	前C (失)	×	+	×	窩	×	充形	×	咬合	×	×	×	×	×	×			
	活乳	×	活乳	×	+	×	洞	×	+	×	試適	×	×	×	×	×				
		×	×	×			+	×	修形	×	支台鑲造	メタル	前小	×	大	×	その他	前小	×	大

60

冠 修 復 及	金 属 歯 冠 修 復	乳銀	×	×	×	×	×	×	TeC	×	充填	×	×	×	×		
		前小バ	×	×	×	×	×	×	硬ジ	×	×	充 填 材 料	充Ⅰ	×	×		
		前小二	×	×	×	×	×	×	ジ	×	乳		×	×	×		
		大バ	×	×		×	×	菌CAD	×	修理	×		充 填 材 料	充Ⅱ	×	×	
		大銀	×	×		×	×		装着	×	+			×	×	×	
		大二	×	×		×	×		装着	×	×			×	リテイナー	×	×
		14K	×	×	×				材料	×	×			×	仮着	×	×

び 欠	ボ ン テ ィ ツ ク	鑄大	×	パ小	×	裏前	×	パ小	×	Br	×	パ	鑄バ	×	ニ	×
		造ニ	×	銀	×	装14K	×	他	×	装着	×		屈バ上	×	下	×
		前装	×	ニ	×			銀	×				曲不特	×	保	×

[illegible]

綴	その他
---	-----

その他	訪問診療 2 283×2, 訪問診療 3 143×1, 急性対応 55×3, 訪補助 45×2, 歯在管 140, 機能管 50, 特 175×3, 訪衛指視 360×1	2,039
-----	---	-------

摘 要	特養恵愛園 脳梗塞で通院困難。 5/9 容体急変により診療途中で治療中止。 5/7 16：00～16：20 訪衛指 5/7 16：20～16：50 5/9 15：15～15：25 5/14 15：50～16：05	公費分請求	点	合 計	2,586 点	
		点 数 決定	※ 点			
		患者負担額 (公費)	円	決 定	※ 点	
		高額療養費	※ 円	一部負担 金 額	減額 割(円) 免除・支払猶予	円

歯の疾患の処置， 歯内療法

1—処置の費用算定の原則（加算，麻酔，特定薬剤）

1) 歯内療法にかかわる加算

項 目	加算内容	特記事項
6歳未満の乳幼児加算	50/100 加算	・重複算定不可 ・全身麻酔下で行った場合は加算算定不可
著しく歯科診療が困難な者への加算	50/100 加算	
150点以上の処置	休 日：80/100加算 時間外：40/100加算 深 夜：80/100加算	・150点，1,000点は所定点数を指す。 ・単独の診療報酬が150点，1,000点未満であったとしても，全体として一体と考えられる処置・手術の合算がそれ以上であれば，左記加算算定可
1,000点以上の処置	休 日：160/100加算 時間外：80/100加算 深 夜：160/100加算	

※訪問診療時の加算は104頁参照。

2) 特定薬剤，表面麻酔・浸潤麻酔・下顎孔や眼窩下孔以外への簡単な伝達麻酔

項 目	算定可	算定不可
特定薬剤	120点未満の処置	120点以上の処置
	特定薬剤料を含むと規定されていない処置	左記内容を規定された処置
浸潤麻酔等	120点未満の処置	120点以上の処置
	麻酔料を含むと規定されていない処置	左記内容を規定された処置

2—歯の疾患の処置

1) う蝕処置《う蝕》（1歯1回につき）

（18点）→C，Pul，Per

■う蝕処置算定項目

内 容	特記事項
う蝕歯に行った軟化象牙質除去，暫間充填	
歯内療法中の歯根未完成永久歯に対し，根尖部予後観察目的で行った暫間根充にあわせて行う暫間充填	暫間根充は水酸化Ca系糊剤等を用いたもの
歯髄保護処置または脱落歯冠修復物再装着を行う際の軟化象牙質除去または暫間充填	暫間充填は磷酸セメントもしくはカルボキシレートセメント等を用いたもの

※う蝕処置算定の場合は，算定部位ごとに処置内容等を診療録に記載する。

※軟化象牙質検査は含まれる。

※支台築造とあわせて行ったう蝕処置は算定できない。

2) 咬合調整《咬調》→P，Brx，FMC 過高，MT 等

・1～9歯（40点），10歯以上（60点）

■咬合調整の算定項目

内 容	備 考	
歯周炎の処置のための歯の削合		1回に限り
歯ぎしりの処置のための歯の削合		1回に限り
歯の過高部，鋭縁削除	過重圧を受ける歯の切縁，咬頭過高部または他院製作の歯冠修復物等の過高部削除	1回に限り
鉤歯調整，鉤対歯調整	義歯製作にあたり，鉤歯と鉤歯の対合歯をレスト製作のために削除した場合	1回に限り